

# 2022.11.30

水

口頭発表 14:00-15:25

ポスターセッション 15:35-16:15

会場

## ACU-A

口頭発表 大研修室 1614

ポスターセッション 大研修室 1606

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 16F

開催目的

人間重視と地域社会への貢献を理念に掲げている札幌市立大学では、デザインと看護それぞれの専門分野の特色を生かした研究成果を生み出しており、今後はデザインと看護をAIが下支えする研究に取り組んでいきます。

SCU産学官金研究交流会は、本学の研究成果や今後取り組む研究を、市民の皆様や産業界に広く紹介し、本学の研究への理解を深めていただくとともに、新規産業の創出支援や製品化へのマッチングをすることを目的とした研究交流会です。

5名の口頭発表の他、北海道立総合研究機構・企業等の研究成果・事例をポスター形式でご紹介いたします。どなたでもご参加いただけますので、ご興味のある方はぜひご来場ください。

入場無料  
(入退場自由)



2022年度

# SCU

## 産学官金

## 研究交流会

後援

北海道立総合研究機構  
北海道中小企業家同友会  
北洋銀行  
北海道経済産業局  
札幌市

詳しくは裏面をご覧ください

## 口頭発表

### 看護 Nursing

14:00-14:25

#### デザインと看護の連携による 心電図初学者のための3D(立体模型) 学習教材の開発

定廣 和香子 [看護学部]

心電図の判読能力の獲得、向上に向け、初学者が活用可能な立体模型学習教材の開発に着手した。令和3年度の卒業生が作成したプロトタイプ(SHIMOZURUモデル)およびこれを基盤とし、開発中の教材のデザインを示す。研究交流会では、心電図判読能力向上に向けた教材の実際の活用方法について、実物(SHIMOZURUモデル)を用いながらデザインを洗練するための課題を明確にする機会としたい。(この研究は、令和4年度共同研究費の助成を受けて実施している。)

### デザイン Design

14:25-14:40

#### 大規模停電(ブラックアウト)時 における都市公園の役割

—北海道胆振東部地震発生時の調査結果から—

椎野 亜紀夫 [デザイン学部]

本研究は北海道胆振東部地震による大規模停電時において、市民の生活用水確保のため都市公園の水道施設が利用された実態を、周辺建物との関係から解明することを試みた。研究の結果、停電時に市民による水道施設利用は305箇所の都市公園で確認された。また集合住宅管理者へのインタビュー調査の結果、停電時において市民が都市公園水道施設を利用した状況を具体的に把握できた。

### AI Artificial Intelligence

15:10-15:25

#### 札幌市の幹線道路排雪作業の最適化

高橋 尚人 [AITセンター]

札幌市では、路肩の堆雪を雪処理施設に運搬する排雪作業が重要な雪対策となっている。札幌市では市を10のエリアに分け、エリアごとに排雪作業現場と雪処理施設をマッチングしているが、最適なマッチングができず作業の効率が低下している場合があると考えられる。本研究では、デマンド応答型公共交通の一種であるSmart Access Vehicle Systemの最適化アルゴリズムを使用し、令和2年度冬期に実施した幹線道路の排雪作業を対象に、排雪作業現場と雪処理施設のマッチングの最適化を図った。

## お申し込み

### 申込期限

11.25<sup>金</sup>まで

専用ページからお申し込みください。  
URL:<https://forms.office.com/r/r2evaFDAdq>



インターネット環境が無い方は、電話・メールでもお申し込みいただけます。  
口頭発表、もしくはポスターセッションのみのご参加も歓迎いたします。  
なお、お申し込み後にキャンセルする場合、ご連絡は不要です。

△体調不良の方、熱がある方、直近で新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触があった方は、当日の参加をご遠慮ください。

14:40-14:55

#### エゾシカの角を利用した プロダクト開発

矢久保 空遥 [デザイン学部]

北海道水産林務部によると、エゾシカの推定生息数は令和元年度で67万頭といわれており、増えすぎたエゾシカによる樹木や田畑、交通機関への被害が加速している。このため、道では計画的なエゾシカ対策を進めている。捕獲されたエゾシカは人や愛玩動物の食用に加工されることがあるが、骨や皮、角の利用は肉と比べて活発ではない。そこで、エゾシカ肉を加工し販売している企業からの依頼を受けて、エゾシカ肉加工時に出る角を主材料としたプロダクトの開発を行った。

14:55-15:10

#### リハビリテーションとしての災害復旧 プロセスを支援する環境移行調査

—気仙沼市小泉町地区を対象として—

坪内 健 [デザイン学部]

「リハビリテーションとしての災害復旧プロセス」という理論的視野は、状況の改善が必ずしも見込めない場合においても生活の質の回復を諦めない医学や看護学におけるリハビリテーションの考え方に依拠し、復興事業によって直接的あるいは間接的に生じる地域の様々な問題に対し、そこで生活する住民がどのように折り合いをつけていけば良いのかという視点に立つ。縮退期の大規模な復興事業では長期的な計画支援が必要であり、環境移行の調査を現場へと還元する研究の方法論の設定が重要になる。

## ポスターセッション

15:35-16:15

### ポスター展示

札幌市立大学	17件
北海道立総合研究機構	7件
北海道中小企業家同友会	4件
北洋銀行	1件
札幌市	1件
計	30件

## お問い合わせ

### 電話・メール申し込み

札幌市立大学事務局 地域連携課  
TEL/011-592-2346  
E-mail/[crc@scu.ac.jp](mailto:crc@scu.ac.jp)

## アクセスマップ

